進路指導部だより
道しるべ
天王みどり学園 進路指導部
第１９２号
令和８年１０月２３日発行

一人一人の可能性を広げるために

教頭　相場　力

昔の話で恐縮ですが、３０年ほど前に高等部１年を４年連続で担任したことがありました。秋田県内の知的障害特別支援学校（当時は養護学校）で高等部がある学校は、当時まだ４校でした。卒業後の進路先もまだそれほど多くなく、お子さんの進路に不安を抱えていたり、自ら作業所設立に向けて勉強したりしている保護者の方もいらっしゃいました。

そんな保護者の皆様に一冊の本を紹介し、内容をお伝えしたことがあります。

その本の中には、一般企業や作業所等から指摘された、対人関係、仕事に向かう姿勢や態度、身辺処理の課題や、是非身に付けておいてほしいこと、保護者への要望などが事細かに書かれていました。高等部における進路指導の在り方を模索しながら、保護者の方と意見を交換し合ったことを覚えています。

今手元にある、平成５年に初版が刊行されたその本をめくってみると、３０年を過ぎた現在であっても、大事なことは変わらないな、ということを感じます。そしてそれは、小さな頃からのたくさんの積み重ねがあって着実に力になるということです。

朝起きて、家を出発してそれぞれの職場に向かう。

たったこれだけのことでも、実に様々な力が必要になります。

・朝決められた時間に起きる。そのために前日夜更かしをせずに就寝する。
・朝起きたら着替えをし、洗面し、身だしなみを整える。
・食事をきちんととり、トイレを済ませる。
・職場で使う物を忘れないように準備し、時間に間に合うように出発する。
・職場までの通勤を安全に行う。

職場に着くまでだけでも様々なことをこなさなければなりません。そして、職場に着いてからも、仕事に向かう態度、挨拶や返事、人との付き合いや協調性、自分の気持ちや願いを適切に伝える力、仕事を正しく行う能力等々、実に様々なことを行わなければいけません。

自力でできることが増えていくことが、将来の進路選択の幅を広げることにつながります。

そのために、学校では一人一人の発達段階や生活年齢を考えた指導の目標を設定しています。将来の可能性を広げていくためにも、御家庭と学校が手を携えて一人一人を育てていきたいと考えています。疑問に思われたことは是非学級担任にお知らせください。

これからも御協力をお願いいたします。

令和8年度　二十歳を祝う会及び同窓会総会

思い出のスライド



記念品贈呈





新成人と保護者の方からのスピーチ



今年度の「二十歳を祝う会」並びに「同窓会総会」が開催されました。二十歳を迎えた卒業生たちの社会人としての頼もしい姿に接し、心温まる再会のひとときとなりました。

総会におきましては、会長による進行の下、今年度の活動に向けて充実した協議が行われました。会員の皆様におかれましては、今後とも同窓会活動への温かい御支援と御協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

第２５回秋田県障害者技能競技大会
アビリンピックあきた２０２６

7月9日(木)に秋田市にぎわい交流館AUを会場に「アビリンピックあきた2026」が開催され、本校からは「ビルクリーニング競技」に高等部3年佐藤未來さん、「ワード・プロセッサ」に高等部3年松田優空さん、「木工」に高等部2年金野惺磨さんが出場しました。



出場した選手たちは、この大会に向けて作業学習の時間や放課後に残って練習を重ねてきました。結果は、「木工」で高等部2年金野惺磨さんが金賞を獲得することができました。

この大会で入賞できた生徒も、惜しくも入賞を逃した生徒も、これまで培ってきた力を存分に発揮し、学校代表として頑張りました。



障害福祉サービス事業所
合同説明会

9月4日(金)、秋田総合支援エリア(かがやきの丘)を会場に、「障害福祉サービス事業所合同説明会」が開催されました(隔年開催)。午前午後合わせて約 70 の事業所が参加しました。保護者の方々も 100 名以上の参加があり、進路選択の参考に、または将来の情報収集のために各ブースを回っていました。

【障害福祉サービスの種類:抜粋】

・入所・生活介護・就労継続支援B型・A型事業所
・就労移行支援・共同生活援助(GH:ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ)等



次回開催は令和10年度となります。
参加してみてはいかがですか。